

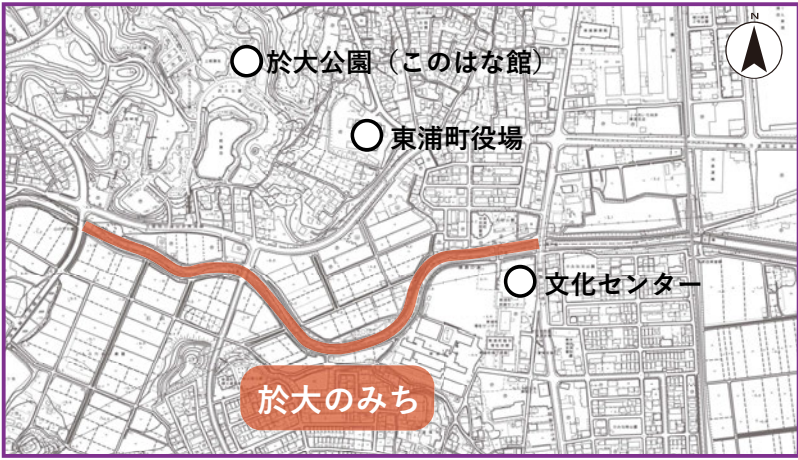
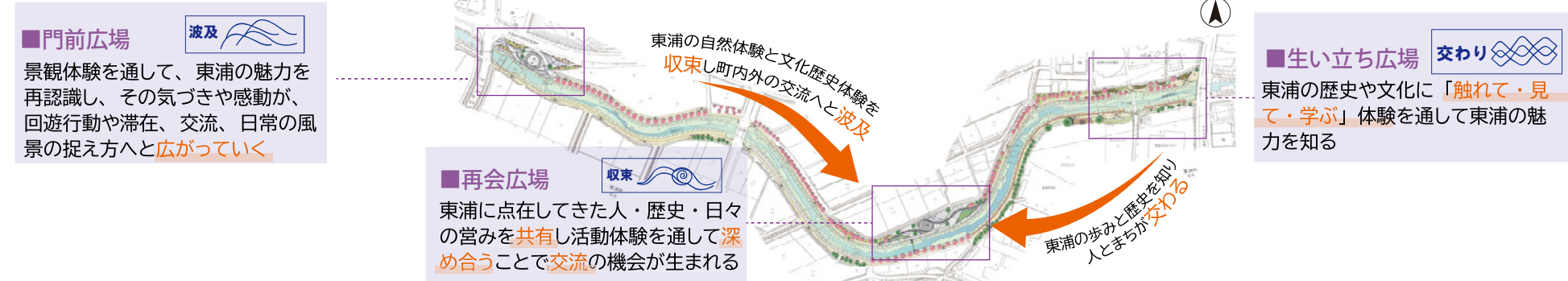
於大のみち再整備基本計画(案) 概要

コンセプト

位置図

まちの記憶を辿り、次世代への歩みを広げる、流れゆく風景の回廊

東浦の歴史と未来への新たな活動の糸が紡がれる様子を「人の流れ」「歴史文化の流れ」「吹き抜ける景観」の各要素が交じり多様な波及効果を創出する空間を目指します。



■空間デザイン

景色を取り込みつつ、人々の動きや空間の広がりなど、様々な活動の流れを表す舗装デザインとします。まわりの景観と調和しながら、様々な活動ができるような開放的な空間を表現します。



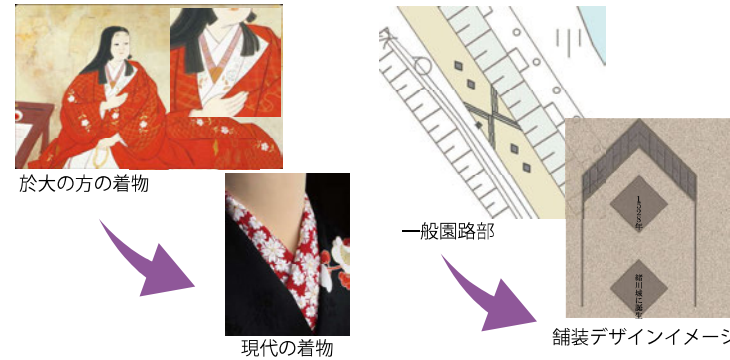
■施設デザイン

ベンチなどは、自然景観や既存施設とのバランスがよい自然素材を基本とします。人が歩く流れや動きとつながり、人や自然との交流を生む場をつくります。



■舗装デザイン

於大の方の象徴の一つである着物の絵でも、特に襟(えり)もとの赤く映える部分が色鮮やかで華やかな印象を与えることから、現代にも受け継がれる着物の襟合わせをモチーフにした於大のみちの統一デザインとします。このデザインを舗装に取り入れることで、地域に根付く文化の拠点であることを表現します。

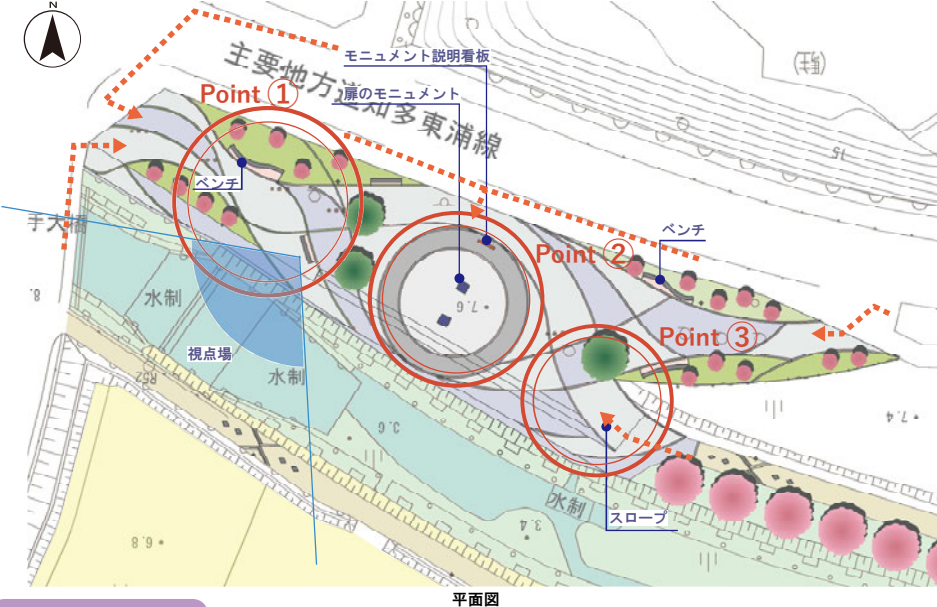


各広場の計画イメージ

■門前広場



里山景観を望み、地域自然を体感する開放的な広場



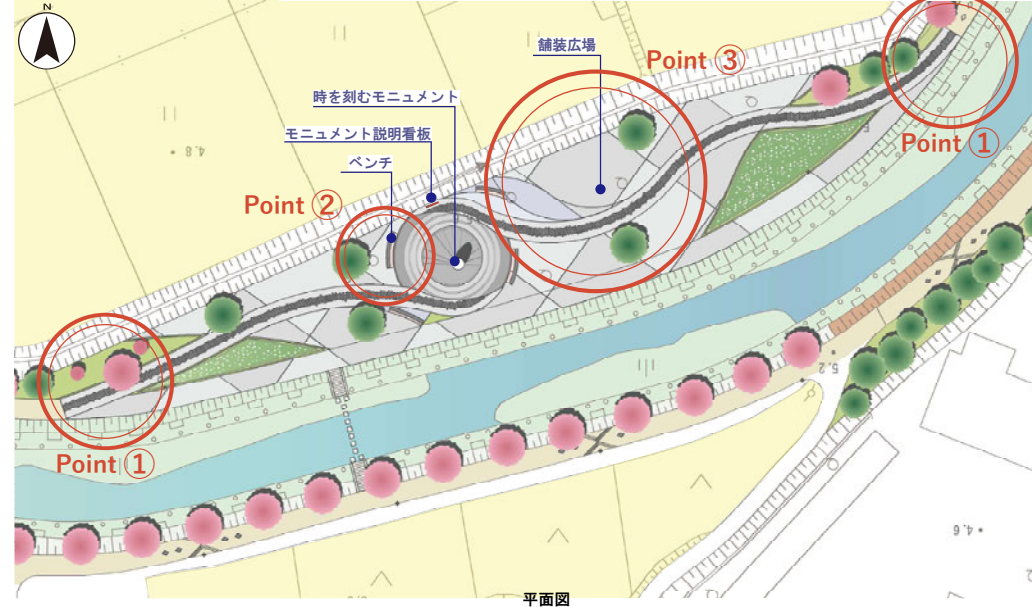
施設イメージ



■再会広場



集まり・広がる多様なレクリエーション広場



■生い立ち広場



まちの前庭として、周辺公共施設と連携する広場

